

利根川水系における渇水の状況について

本日のポイント

○渇水の概況

- ・ 7 月 1 4 日以降の比較的まとまった降雨によって利根川上流 8 ダムの貯水率は若干回復ののち横ばいを維持しており、7 月 2 9 日 0 時現在で 5 5 % となっている。
- ・ これにより貯水量は現在の 8 ダム体制となった平成 4 年以降、過去 2 5 年間で 3 番目に低い値となっているが、7 月 2 8 日には関東地方が梅雨明けしたため、引き続き予断を許さない状況(平年の 6 3 %)。

○関東地方整備局の対応

- ・ 利根川本川、江戸川、神流川、渡良瀬川において 1 0 % 取水制限中。
- ・ 鬼怒川において 7 月 2 8 日から 2 0 % 取水制限中。

○今後の見通し

- ・ 関東甲信地方では向こう 1 ヶ月の間、平年に比べ晴れの日が少ない見込み。降水量は平年並となる確率が 4 0 %。(7 月 2 8 日 気象庁発表)

1. 渇水の概況

- 今年、利根川水系において累加降雪量が平年の 5 割程度(藤原ダム地点)と記録的に少なく、雪解けが平年に比べ約 1 ヶ月早く終わった。
- 少雪に加えて、5 月の降雨量が例年の 4 8 % 程度(総雨量 5 6 mm)と少なかったことから、下流の取水量確保のためのダムからの補給に伴い、ダム貯水量が低下。
- 7 月 1 4 日以降の比較的まとまった降雨によって利根川上流 8 ダムの貯水率は若干回復したのち横ばいを維持しており、7 月 2 9 日 0 時現在で 5 5 % となっている。これにより貯水量は現在の 8 ダム体制となった平成 4 年以降の過去 2 5 年間で 3 番目に低い値となっているが、7 月 2 8 日に関東地方が梅雨明けし、また同日に鬼怒川において 2 0 % 取水制限となったため、引き続き予断を許さない状況(平年の 6 3 %)。

2. 取水制限の状況

○利根川水系渡良瀬川

- 6月11日（土）午前9時～ 10%取水制限
- 6月25日（土）午前9時～ 20%取水制限
- 7月20日（水）午前9時～ 10%取水制限に緩和

○利根川水系利根川、江戸川、神流川

- 6月16日（木）午前9時～ 10%取水制限

○利根川水系鬼怒川

- 6月16日（木）午前9時～ 10%取水制限
- 7月28日（木）午前9時～ 20%取水制限

3. 国土交通省の対応

- 6月 7日（火）国土交通省 水管理・国土保全局 渇水情報連絡室設置
- 6月14日（火）国土交通省 渇水対策本部設置

4. 関東地方整備局の対応

- 4月 8日（金）第1回利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会（春季定例会）
- 6月 7日（火）第2回利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会開催
- 6月14日（火）利根川水系渇水対策連絡協議会開催
 - ・6月16日（木）午前9時より10%の取水制限
 - ・今後利根川上流8ダムの貯水量が1億5千万m³を下回った場合、その翌日の午前9時から20%取水制限

○利根川上流8ダムからの補給と下流施設を活用し、利根川水系全体でより効率的な水運用を実施中。

- ・北千葉導水路※により、利根川下流部から江戸川へ導水。
- ・三郷放水路※により、中川から江戸川へ導水。
- ・利根川連絡水路※（霞ヶ浦開発施設）により、霞ヶ浦から利根川へ導水。

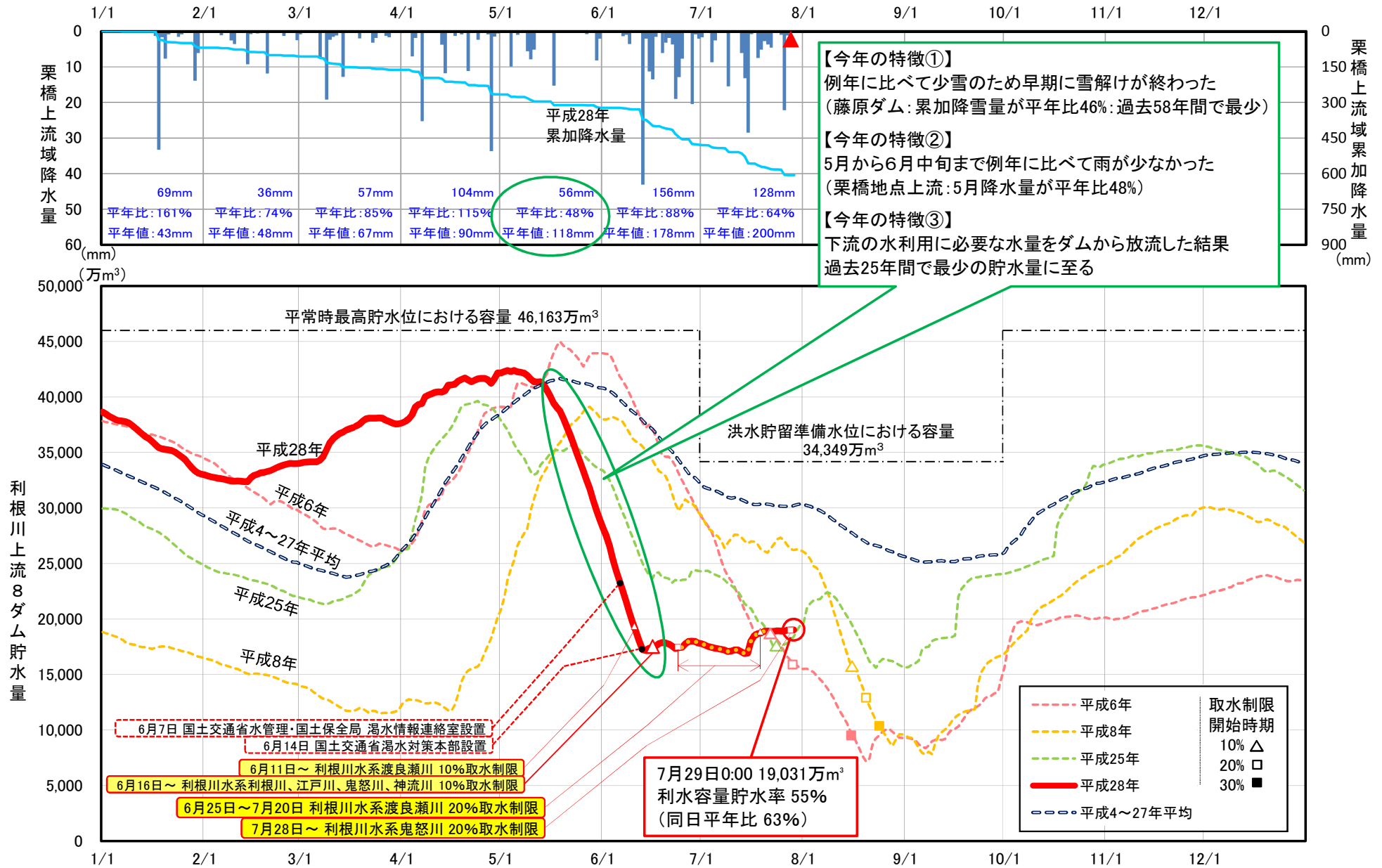
※上記3水路は、河川の状況に応じ導水を実施

5. 今後の見通し

○関東甲信地方では、向こう1ヶ月（7月20日～8月29日）の間、平年に比べ晴れの日が少ない模様。降水量は平年並の確率が40%。（7月28日 気象庁発表）

利根川上流8ダム貯水量履歴図

平成28年7月29日0時現在



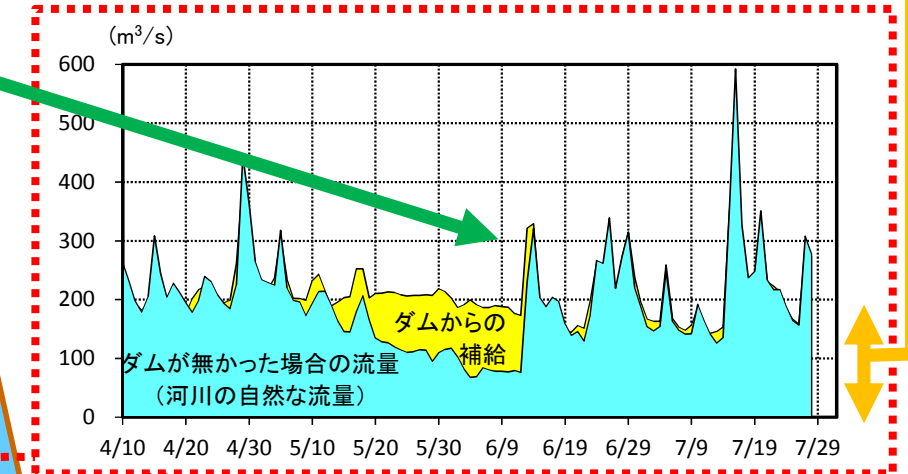
利根川上流8ダムからの 放流と取水との関係

平成28年7月28日現在 ※1

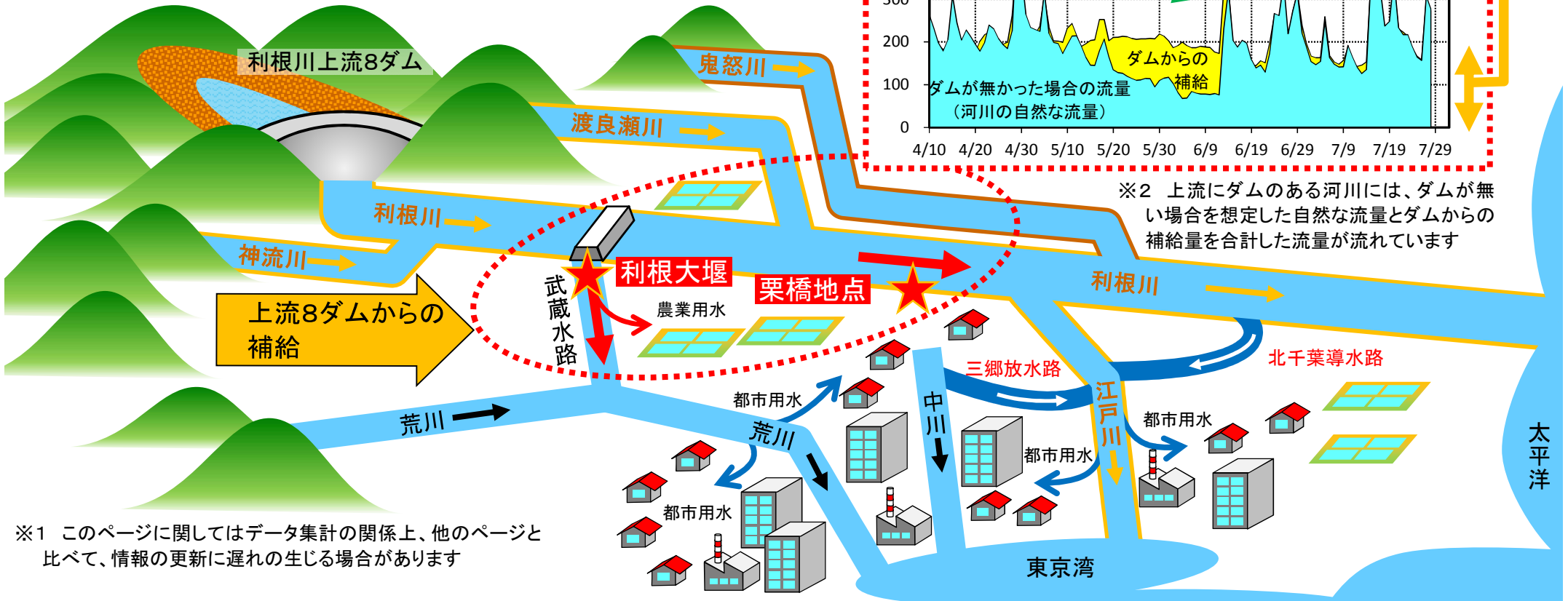
【今年の特徴③'】

5月以降の小雨により、河川の自然な状態での流量が減少したことから、**下流の水利用に必要な水量をダムより補給(放流)した結果、ダムの貯水量が低下**

利根川・江戸川・荒川3河川の水需要に対して、必要な取水量を確保するため、**利根大堰からの取水量と栗橋地点での流量を合わせ、一定の流量の確保が必要**※2



※2 上流にダムのある河川には、ダムが無い場合を想定した自然な流量とダムからの補給量を合計した流量が流れています



※1 このページに関してはデータ集計の関係上、他のページと比べて、情報の更新に遅れの生じる場合があります